

調 査 研 究 結 果

種目	道 徳	発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名
観 点	教科書名等 項 目	233・日科	道徳 730 道徳 830 道徳 930	道徳 中学校 1 生き方から学ぶ 道徳 中学校 2 生き方を見つめる 道徳 中学校 3 生き方を創造する
取 扱 内 容	地域への興味関心	第 1 学年	和歌山藩士の陸奥宗光像を扱い、自分の地域について理解し、地域の発展のために大切なことは何なのか考える活動を取り上げている。	
		第 2 学年	石川県の地域祭りである神事芸能を扱い、自分の地域について理解し、地域社会の一員として大切なことは何なのか考える活動を取り上げている。	
		第 3 学年	米沢藩の上杉謙信の生き方を扱い、自分の地域について、地域社会の一員としての自覚を持って郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めることの大切さについて考える活動を取り上げている。	
	命の連続性	第 1 学年	先祖から子孫へ受け渡していく生命の連続性について感じたことは、どのようなことかや自分の生命、他の人の生命について感じたことは、どのようなことかを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、いじめを改善するために、どのような方法があるかを考える活動を取り上げている。	
		第 2 学年	生命とは、どのようなものかや生命の尊さを守るためには、どのように考えていけばよいかを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、大切なことを見失わないようにするためには、友人とどのように付き合っていくことが大切かを考える活動を取り上げている。	
		第 3 学年	命とは、どのようなものかや生命の尊さを守るためには、どのように考えていけばよいかを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、友達とよい関係を築くためには、どのようにしたらよいかを考える活動を取り上げている。	
	自己肯定感・自己有用感の醸成	第 1 学年	プロ車いすテニス選手国枝慎吾氏を扱い、自分自身のよさについて知り、それをどのように伸ばしていくことができるのかを考え、話し合う活動を取り上げている。	
	第 2 学年	キャリアプランニングを扱い、自分自身のよさについて知り、それをさらに伸ばしていくことについて考えたとき、困難があってもやり抜くことの大切さについて学んだりする活動を取り上げている。		
	第 3 学年	山中伸弥京大教授がノーベル賞受賞に至るまでの経緯を扱い、自分自身のよさについて知り、自己の向上を図るとともに個性を伸ばして、充実した生き方をするためにはどうしたらよいか考える活動を取り上げている。		
生活習慣 (ゲーム・スマホ)	第 1 学年	ネット・コミュニケーションの利便性を扱い、節度を守り、節制を心がけることの大切さについて考える活動を取り上げている。		
情報化への対応	第 1 学年	スマートフォンを扱い、インターネット上では、どのようなコミュニケーションが望ましいかを話し合う活動を取り上げている。		
	第 2 学年	インターネットを扱い、コミュニケーションをとる上で、どのような配慮が必要かを話し合う活動を取り上げている。		
	第 3 学年	インターネットを扱い、コミュニケーションをとるときに大切なことは、どのようなことかを話し合う活動を取り上げている。		
男女平等	第 1 学年	男女関係を扱い、異性についての理解を深め、よい人間関係を築いていくために大切なことを考える活動を取り上げている。		

		<p>第2学年 男女関係を扱い、異性についての理解を深め、大切なことを見失わないように友人とどのようにつきあっていくべきか考える活動について取り上げている。</p> <p>第3学年 男女関係を扱い、異性についての理解を深め、悩みや葛藤を経験しながら人間関係を深めていくにはどうしたらよいか考える活動を取り上げている。</p>
	いじめ問題への対応	<p>第1学年 黒人選手として初のメジャーリーガーになったジャッキー・ロビンソンの生き方を扱い、いろいろなものの見方や考え方があつことを理解し、寛容な心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくことの大切さについて考える活動を取り上げている。</p> <p>第2学年 著書「発達障害の子どもたち、みんなと同じにならなくていい」からの一部抜粋を扱い、互いの違いを理解し、自分の個性に誇りを持ち、自分らしい道を歩んでいける社会の実現について考える活動を取り上げている。</p> <p>第3学年 障害差別解消法を特集した新聞記事を扱い、正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会を実現させるために何が必要かを考える活動を取り上げている。</p>
内容の構成・排列、分量等	教材数	<p>中心的に扱う教材</p> <p>第1学年 37 (読み物 37)</p> <p>第2学年 37 (読み物 37)</p> <p>第3学年 37 (読み物 37)</p>
		<p>補助的に扱う教材</p> <p>第1学年 15 (読み物 11・他 4)</p> <p>第2学年 17 (読み物 10・他 7)</p> <p>第3学年 13 (読み物 6・写真 1・他 6)</p>
	議論を行い自分との関わりで考察できる工夫	各学年に、「考え、話し合ってみようそして、深めよう」を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるように工夫されている。
使用上の配慮等	家庭との架け橋となる工夫	各学年に、学校と家庭、地域社会をつなぐ「心の成長を目指して」を配置し、家庭や地域社会との共通理解を深めることができるようになっている。
	地域の人々との連携や地域の行事との関連を図った学習活動の充実	地域社会における「自分」の関係を認識して「自分の立ち位置」を知ることにより、社会において自立的に生きる基礎を養い、社会の形成者として必要とされる基本的な資質を養うことができるようになっている。
	自らの成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりする工夫	自らを振り返るための工夫については、各学年に、「〇年生の心の成長を振り返りましょう」を配置し、自らの道徳的成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりすることができるようになっている。
	教材ごとのねらいやテーマの掲載状況	見通しをもった学習を促すために、巻末に教材ごとの学習内容を掲載している。
	教材ごとの展開における発問の掲載状況	単元末に、教材の理解を深める発問、問題解決的・体験的な発問を配置している。
その他	その他の特色	